

弱親水性 2日~ 60,000円~ クォーツガラスコーティング



有機物を一切含まない無機溶剤が空気中の水分と化学反応を起こし、劣化のない無機質の石英ガラス(SiO₂)の膜に変化。試験機関の成分分析においてSiO₂と明記されるのは、現状唯一クォーツガラスコーティングの溶剤だけだろう。



下地処理こそがディテリングの質を左右する。カービューティ・ファクトリーをはじめとするJQC加盟店ならば、当然ながらその技術も折り紙つき。最新ツールを用いたコダワリの各種作業が、長期に及ぶ防汚性と美しい塗装面をもたらす。



ボディ外装のほか、写真のようなボンネット裏側やドア開口部、ホイールなどにも施工が可能だ。手塗りでは不可能な細かいパーツにも施工できるあたりが、スプレーガンを用いるクォーツガラスコーティングならではのメリットといえる。

抜群の防汚性と耐久性を実現する無機質の石英ガラスコーティング膜

ガラスコーティングの決定版、クォーツだから大丈夫！
——というわけではない。
仕上がりが耐久性の質を、とことん突き詰めていけば、ショップ選びこそが肝心なのだ。だからジャパンクォーツクラブ。熟練のスタッフに愛車は任せたい。

リポート|堀口 訓 | S.Horiguchi
フォト|大林博之 | H.Ohbayashi

問い合わせ先=ジャパンクォーツクラブ
<http://www.japan-quartzclub.com>

進化するクォーツを熟知する専門店のみが揃うジャパンクォーツクラブ

クォーツガラスコーティングは、パーヒドロポリシラザンという有機物を一切含まない、完全無機溶剤をスプレーコーティングする、いわばガラスコートの内装方法を決定づけた製品として知られている。が、より良い製品づくりを求めて、製品成分や作業ツールの改善などを常に繰り返しているクォーツは、それなりに施工する側にも知識をはじめとする高いスキルが求められるわけで、仕上がりは自ずとショップの技量に左右されるのが残念ながら事実である。

たとえば、ジャパンクォーツクラブ(JQC)。ここは真にクォーツガラスに精通する熟練のプロショップのみが加盟できるクラブであり、きちんとしたルートから仕入れた本物の製品を用いた質の高い作業を望むことができる。最近は類似品をクォーツガラスとして施工す



る悪徳店も多いらしく、かつそういった店舗では下地処理や施工後の長期性・耐久性にも差が現れがちだという。その点、JQC加盟店ならば、この製品本来の特長である防汚性の長期にわたる保持はもちろん、手厚いアフターサービスをも大いに期待できる。なにせトップエンドの集まり、作業スキルは並大抵ではないと断言していい。

ここで、JQCを代表して関西の名店を紹介したい。東大阪市にある寺園代表率いる老舗ディテリングショップ、カービューティ・ファクトリーだ。コチラは美装という概念すらなかった時代からディテリングに取り組んでおり、ここで美装のなんたるかを学んだ後に独立を果たした人物も多いとか。指針たり得るプロショップばかりが揃うジャパンクォーツクラブ、真にオススメしたい。

欧米から輸送船にて日本上陸を果たす輸入車。その際、ボンネットやトランクなどに貼られる保護フィルムが塗装を傷める原因になることも。それを完全に除去するのにテクニクがある。

カスタムコーティングも可能な関西エリアきっての老舗看板。

ユーザーの使用条件や駐車環境を踏まえて、部位ごとに異なるコーティング製品を用いるカスタムメイクが大好評。また最近では、なにかと汚れがちなチャイルドシートのオゾン消臭・脱臭にも専用ブースを設置してサービス展開中。



CAR BEAUTY FACTORY

カービューティ・ファクトリー
〒557-0015 大阪府東大阪市長田西5-4-11 ☎0120-678-817
<http://www.carbeauty.co.jp> 営業時間=平日8:00~19:00